

＊給食室から＊

「いただきますとごちそうさまの話」

毎日食べている食事。私たちが食べるまでに、たくさんの人の協力があります。食材や物を大切に作る心に繋がる言葉です。

いただきます・・・あなたの命を私の命にさせていただきます。

という感謝の気持ちが込められています。

ごちそうさま・・・食事を用意してくれた、関わってくれたひとへの感謝の

気持ちが込められています。

いただきますやごちそうさまは日本独自の文化だそうです。日本の文化も知り大切に行きたいですね。



「秋」といえば読書の秋・運動の秋・食欲の秋です。食事から秋を感じたいですね。

旬の食材ー さつまいも しいたけ しめじ れんこん かぼちゃ さといも イチジク
くり 梨 柿 ぶどう カツオ さけ さんまなど

＊保育園で人気の絵本＊

一子どもたちに絵本を 絵本は心の栄養になります

0才児クラスから

たくさん読んであげてくださいー

「ねむねむごろん」

たなか しん作・絵

ぞうさんが「ねむねむ どしん」と大きくうつぶせ。くまさんが「ねむねむ ごろん」とのびのび大の字。とりさんが「ねむねむ くるん」と首をうずめたら、りすさんが「ねむねむ ころん ころん。子どもたちは、どうぶつたちと同じように「どしん」「ごろん」とポーズをまねします。読んでいるとどんどん心地よい気持ちになってきて、いつのまにか自然と横になって子どもたちの眠りを誘います。

たなか しんさんは海の砂を用いた独特の画法で数々の絵本を手掛けています。あたたかくて優しい、おやすみ前にピッタリの絵本です。



＊育児で大切なこと＊ 0歳児

「やりとり遊びを豊かに」

10カ月頃になると「大人ー子どもー第三者」という関係が成立してきます。

これが「三項関係」と呼ばれるもので、言語獲得の土台となることから「ことばの前のことば」とも位置づけられています。大人が「ちょうだい」といって手を差し出すと、赤ちゃんは手に持っていた物を大人の手のひらの上にのせてくれるようになります。そして、大人が「はい」といいながらそれを返すと、嬉しそうに受け取ります。「ちょうだい」「はい」などという大人のことばに合わせて物をやりとりする関係が成立してくるのです。物のやりとりだけでなく、動作のやりとりもできるようになります。「ばいばい」ということばに反応して、手を振ったり、自分の名前を呼ばれると振り向くことができるようになります。「三項関係」を土台とした大人と子どもの「やりとり遊び」を豊かに行うことが大切です。手から手へと物をやりとりする遊び、ボールころがしのように距離をあけて物をやりとりする遊び、またリズムカルな大人のことばに合わせて動作をやりとりする遊びなどをしっかり行いましょう。